



平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年11月12日

上場会社名 大同メタル工業株式会社

上場取引所 東 名

コード番号 7245 URL <http://www.daidometal.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼最高経営責任者 (氏名) 判治 誠吾

問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員総務センターチーフ (氏名) 玉谷 昌明

TEL 052-205-1401

四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日

配当支払開始予定日

平成22年12月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 機関投資家、アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	30,735	29.4	3,541	—	2,759	—	5,706	—
22年3月期第2四半期	23,743	△33.9	△1,430	—	△1,935	—	△2,274	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	143.21	—
22年3月期第2四半期	△57.07	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	84,528	27,095	26.1	553.87
22年3月期	82,266	22,225	20.8	430.15

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 22,068百万円 22年3月期 17,140百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
23年3月期	—	6.00	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	60,800	18.9	7,000	—	5,800	—	7,300	—	183.21

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 有

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 有

新規 1社（社名 ）、除外 2社（社名 大同メタルアメリカCORP. 大同メタルベルフォンテンLLC ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年3月期2Q	44,956,853株	22年3月期	44,956,853株
② 期末自己株式数	23年3月期2Q	5,112,914株	22年3月期	5,109,485株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	23年3月期2Q	39,845,452株	22年3月期2Q	39,850,020株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期連結決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、添付資料3ページ「1. (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご参照願います。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報.....	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	P. 2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	P. 3
2. その他の情報.....	P. 3
(1) 重要な子会社の異動の概要.....	P. 3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要.....	P. 3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要.....	P. 3
3. 四半期連結財務諸表.....	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表.....	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書.....	P. 6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書.....	P. 8
(4) 継続企業の前提に関する注記.....	P. 10
(5) セグメント情報.....	P. 10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	P. 11
4. 補足資料.....	P. 12
(1) 業績の推移.....	P. 12
(2) 第2四半期利益増減要因.....	P. 12
(3) 四半期別業績推移.....	P. 13
(4) 設備投資及び減価償却費の推移と予想.....	P. 13

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(平成22年4月1日から平成22年9月30日まで)における経済環境は、欧米の景気先行きに不透明感が高まるとともに、国内では急激な円高や厳しい雇用環境が続きましたが、中国など新興国の牽引により緩やかな景気回復基調で推移しました。

このような状況にあつて、当社グループは、平成23年3月期での黒字化達成を最優先課題に掲げ、「サバイバル・プラン」の推進課題を着実に実行してまいりました。

当社グループにおける自動車業界は、昨年度の下半期以降よりの需要の回復と海外市場の新規受注などにより、本年度当初から受注は順調に推移いたしました。

また、非自動車分野におきましては、造船業界は厳しい状況から脱しつつも、本格的な回復基調までにはまだ至っておりませんが、建設機械業界はこの上半期に入り急速な受注の回復傾向が見られます。そのほか、一般産業の分野においても、着実に受注が伸びております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は307億35百万円と、前年同四半期比69億91百万円(+29.4%)の増収となりました。

利益面は、増収効果に加え、「サバイバル・プラン」に沿った生産拠点体制の再構築、販売・物流拠点の統廃合、生産性・設備効率の向上及び圧縮した固定費の維持によるコスト構造の改革が定着しはじめたことなどの効果が利益拡大に結びついております。

この結果、営業利益35億41百万円(前年同四半期は14億30百万円の営業損失)、経常利益27億59百万円(前年同四半期は19億35百万円の経常損失)と、営業利益、経常利益とも過去最高となる大幅増益を達成することができました。

また、平成22年9月30日をもって米国連結子会社2社(大同メタルアメリカCORP.及び大同メタルベルフォンテンLLC)の解散・清算手続完了に伴い法人税等調整額を37億36百万円計上したことにより、四半期純利益は57億6百万円(前年同四半期は22億74百万円の四半期純損失)と、四半期純利益においても過去最高となる大幅な増益を達成することができました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ22億61百万円増加し、845億28百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ29億70百万円増加し、442億45百万円となりました。これは主に、売上増に伴う受取手形及び売掛金の増加によるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ7億9百万円減少し、402億82百万円となりました。これは、投資その他の資産が16億45百万円増加した一方、有形固定資産及び無形固定資産が23億54百万円減少したことによるものです。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ26億7百万円減少し、574億32百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の増加などにより流動負債が8億67百万円増加した一方、長期借入金の返済などで固定負債が34億74百万円減少したことによります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ48億69百万円増加し、270億95百万円となりました。これは主に、利益剰余金が増加したことによります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)の残高は、前連結会計年度末に比べ6億12百万円減少し、121億93百万円となりました。

営業活動による資金の増加は、45億44百万円となりました。これは主に、売上債権の増加などによる資金の減少があった一方、税金等調整前四半期純利益及び減価償却費などによる資金の増加があったことによるものです。

投資活動の結果使用した資金は、11億60百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出があったことによるものです。

財務活動の結果使用した資金は、37億75百万円となりました。これは主に、長期借入金及び短期借入金の返済により資金が減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

最近の業績動向を踏まえ、本日付けで平成23年3月期通期の業績予想を、連結、個別とも修正しております。

詳細につきましては、本日開示の「平成23年3月期第2四半期累計期間業績予想との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

当第2四半期連結会計期間において、米国連結子会社であった大同メタルアメリカCORP.及び大同メタルベルフォンテンLLCの解散・清算手続が平成22年9月30日付けで完了いたしました。

なお、大同メタルアメリカCORP.が38.5%、大同メタルベルフォンテンLLCが61.5%出資しておりました大同メタルU.S.A. INC.は、両社の解散・清算に伴い、平成22年9月30日をもって当社100%出資の連結子会社となっております。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

② 棚卸資産の評価方法

当第2四半期連結会計期間末の棚卸高の一部の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

① 連結の範囲に関する事項の変更

1) 連結の範囲の変更

当第2四半期連結会計期間において、大同メタルアメリカCORP.及び大同メタルベルフォンテンLLCの解散・清算手続を完了したため、清算完了日以降より連結の範囲から除外しております。

2) 変更後の連結子会社の数

18社

② 会計処理基準に関する事項の変更

1) 「持分法に関する会計基準」及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

第1四半期連結会計期間より、「持分法に関する会計基準」(企業会計基準第16号 平成20年3月10日公表分)及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第24号 平成20年3月10日)を適用しております。これによる損益に与える影響は軽微であります。

2) 資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、営業利益及び経常利益は、2,787千円減少し、税金等調整前四半期純利益は、147,558千円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,355,131	13,089,108
受取手形及び売掛金	17,701,455	16,303,642
有価証券	25,614	18,858
商品及び製品	3,737,707	3,898,459
仕掛品	4,531,837	4,169,019
原材料及び貯蔵品	2,546,121	2,468,118
その他	3,401,064	1,377,326
貸倒引当金	△53,270	△49,759
流動資産合計	44,245,662	41,274,773
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,920,180	10,478,656
機械装置及び運搬具(純額)	9,678,591	10,836,132
その他	12,342,113	12,705,474
有形固定資産合計	31,940,886	34,020,263
無形固定資産		
のれん	1,232,626	1,302,309
その他	1,194,172	1,399,993
無形固定資産合計	2,426,798	2,702,303
投資その他の資産		
投資その他の資産	5,978,685	4,334,898
貸倒引当金	△63,559	△65,477
投資その他の資産合計	5,915,125	4,269,420
固定資産合計	40,282,810	40,991,987
資産合計	84,528,472	82,266,761

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,102,483	8,184,448
短期借入金	10,615,895	12,604,570
1年内返済予定の長期借入金	6,948,659	5,211,768
未払法人税等	293,101	334,293
賞与引当金	922,664	725,213
製品補償引当金	232,000	218,405
債務保証損失引当金	139,266	—
その他	3,766,328	3,874,533
流動負債合計	32,020,400	31,153,234
固定負債		
長期借入金	16,249,786	19,597,782
退職給付引当金	3,836,659	3,737,164
環境対策引当金	54,447	—
負ののれん	9,744	10,834
資産除去債務	115,210	—
その他	5,146,739	5,541,765
固定負債合計	25,412,587	28,887,547
負債合計	57,432,987	60,040,781
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,273,178	7,273,178
資本剰余金	7,946,245	7,946,245
利益剰余金	9,875,509	4,169,077
自己株式	△1,395,477	△1,394,208
株主資本合計	23,699,455	17,994,292
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	315,078	354,827
為替換算調整勘定	△1,946,118	△1,208,634
評価・換算差額等合計	△1,631,039	△853,807
少数株主持分	5,027,069	5,085,494
純資産合計	27,095,485	22,225,979
負債純資産合計	84,528,472	82,266,761

(2) 四半期連結損益計算書
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	23,743,678	30,735,212
売上原価	19,675,684	21,594,774
売上総利益	4,067,993	9,140,438
販売費及び一般管理費	5,498,753	5,599,360
営業利益又は営業損失(△)	△1,430,759	3,541,078
営業外収益		
受取利息	3,838	14,890
受取配当金	5,280	13,255
為替差益	18,967	—
負ののれん償却額	2,608	1,089
持分法による投資利益	1,331	46,513
スクラップ売却収入	63,593	175,362
雇用調整助成金収入	80,599	—
その他	114,140	93,333
営業外収益合計	290,359	344,445
営業外費用		
支払利息	457,572	395,203
退職給付費用	194,077	194,077
為替差損	—	461,228
その他	143,467	75,670
営業外費用合計	795,117	1,126,179
経常利益又は経常損失(△)	△1,935,517	2,759,343
特別利益		
固定資産売却益	5,219	18,229
貸倒引当金戻入額	41,692	6,392
投資有価証券割当益	—	18,924
子会社清算に伴う為替換算調整勘定整理益	—	92,634
特別利益合計	46,911	136,180
特別損失		
固定資産売却損	3,994	408
固定資産除却損	22,977	16,454
投資有価証券評価損	—	7,408
貸倒引当金繰入額	—	10,000
減損損失	120,999	60,316
たな卸資産評価損	24,040	—
特別退職金	25,526	—
子会社清算損	14,587	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	144,770
リース解約損	26,164	—
過年度減価償却費	87,797	—
環境対策引当金繰入額	—	59,158
過年度支払技術料	—	5,000
債務保証損失引当金繰入額	—	139,266
特別損失合計	326,088	442,784
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△2,214,694	2,452,739

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
法人税、住民税及び事業税	77,370	229,512
法人税等調整額	165,954	△3,604,500
法人税等合計	243,325	△3,374,988
少数株主損益調整前四半期純利益	—	5,827,728
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△183,753	121,295
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△2,274,265	5,706,432

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△2,214,694	2,452,739
減価償却費	2,589,624	2,334,702
減損損失	120,999	60,316
のれん償却額	69,683	69,683
負ののれん償却額	△2,608	△1,089
持分法による投資損益(△は益)	△1,331	△46,513
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△42,583	5,116
賞与引当金の増減額(△は減少)	△21,075	197,450
債務保証損失引当金の増減額(△は減少)	—	139,266
退職給付引当金の増減額(△は減少)	56,211	79,801
環境対策引当金の増減額(△は減少)	—	54,447
受取利息及び受取配当金	△9,118	△28,146
支払利息	457,572	395,203
雇用調整助成金収入	△80,599	—
投資有価証券評価損益(△は益)	—	7,408
投資有価証券割当益(△は益)	—	△18,924
固定資産売却損益(△は益)	△1,225	△17,820
固定資産除却損	22,977	16,454
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	144,770
売上債権の増減額(△は増加)	1,363,342	△1,715,519
たな卸資産の増減額(△は増加)	2,048,843	△517,308
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,857,695	1,349,092
未払消費税等の増減額(△は減少)	193,911	△234,572
その他の負債の増減額(△は減少)	105,240	504,481
その他	176,359	△88,000
小計	973,833	5,143,041
利息及び配当金の受取額	11,666	27,816
持分法適用会社からの配当金の受取額	7,627	16,233
利息の支払額	△460,622	△398,660
雇用調整助成金の受取額	81,140	—
子会社清算費用の支払額	△104,595	—
法人税等の支払額	△27,263	△243,566
法人税等の還付額	235,992	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	717,780	4,544,864

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△7,744	△19,527
定期預金の払戻による収入	32,846	104,224
有形固定資産の取得による支出	△2,162,526	△1,274,392
有形固定資産の売却による収入	49,661	50,956
無形固定資産の取得による支出	△66,051	△36,299
投資有価証券の取得による支出	△1,785	△19,207
貸付けによる支出	△6,008	△10,338
貸付金の回収による収入	12,839	14,296
その他	2,049	29,579
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,146,720	△1,160,709
財務活動によるキャッシュ・フロー		
社債の償還による支出	△66,000	—
短期借入金の純増減額(△は減少)	△526,087	△1,811,817
長期借入れによる収入	5,432,991	500,000
長期借入金の返済による支出	△1,460,994	△2,052,137
セール・アンド・リースバックによる収入	1,364,135	4,608
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△1,268,504	△314,170
割賦債務の返済による支出	△25,622	△26,124
自己株式の取得による支出	△432	△1,268
配当金の支払額	△119,551	—
少数株主への配当金の支払額	△28,704	△75,028
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,301,230	△3,775,938
現金及び現金同等物に係る換算差額	145,308	△220,801
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,017,599	△612,585
現金及び現金同等物の期首残高	8,947,108	12,806,554
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,964,707	12,193,969

(4)継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5)セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

事業の種類として「軸受メタル」、「軸受メタル以外」に区分しておりますが、全セグメント売上高の合計及び営業利益の金額の合計に占める「軸受メタル」の割合がいずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

(単位：千円)

	日本	北米	アジア	欧州	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	17,459,811	1,735,467	2,321,922	2,226,476	23,743,678	—	23,743,678
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	2,181,427	55,907	320,516	37,370	2,595,221	(2,595,221)	—
計	19,641,238	1,791,375	2,642,438	2,263,846	26,338,899	(2,595,221)	23,743,678
営業利益又は 営業損失(△)	△873,776	△476,300	129,524	△227,169	△1,447,722	16,962	△1,430,759

- (注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度により決定しております。
2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域
北米 …アメリカ
アジア…韓国、台湾、タイ、インドネシア、中国
欧州 …イギリス、モンテネグロ、ドイツ、チェコ、ロシア

【セグメント情報】

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

① 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、自動車、船舶等の各種産業用潤滑軸受、組付時に潤滑材を充填する予潤滑軸受、完全無給油の無潤滑軸受、特殊軸受、軸受以外のロータリーポンプ、集中潤滑装置等の製造及び国内外での製品等の販売を主な事業として取り組んでおります。

当社グループは従来よりカンパニー制を導入し、経営の迅速化と課題の明確化に努めて参りましたが、平成22年度より中央研究所と各カンパニーの開発部門を統合し研究開発所とし顧客ニーズに即応した開発体制の強化を図るとともに、カンパニー横断的な営業組織として営業本部を設置し、お客様重視の営業力強化を図ることと致しました。同時にカンパニー制につきましても、当社の顧客構造を反映し自動車用軸受を製造するカンパニーと非自動車用軸受を製造するカンパニーに改変しております。

従って、当社グループの構成単位は製品を基礎とした事業別のセグメントから構成されており、「自動車用軸受事業」、「非自動車用軸受事業」の2つを報告セグメントとしております。

② 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	自動車用軸受	非自動車用軸受	計		
売上高					
外部顧客への売上高	25,040,433	5,582,151	30,622,584	112,627	30,735,212
セグメント間の内部売上高又は振替高	102,879	130,394	233,274	44,873	278,147
計	25,143,313	5,712,545	30,855,858	157,501	31,013,360
セグメント利益	4,461,874	1,417,817	5,879,692	81,599	5,961,292

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおりません。

③ 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

当第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	5,879,692
「その他」の区分の利益	81,599
セグメント間取引消去	△209,770
全社費用(注)	△2,210,443
四半期連結損益計算書の営業利益	3,541,078

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 平成23年3月期 第2四半期決算短信 補足資料

(1) 業績の推移

① 第2四半期業績推移

(単位:百万円)

		平成19年9月期		平成20年9月期		平成21年9月期		平成22年9月期		前年度までの過去最高の業績	
		金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	金額	対象中間期
個別	売上高	26,300	100.0	28,930	100.0	18,655	100.0	26,490	100.0	28,930	平成20年9期
	営業利益	1,792	6.8	1,638	5.7	△ 416	△ 2.2	3,172	12.0	2,127	平成17年9期
	経常利益	1,796	6.8	1,680	5.8	△ 726	△ 3.9	2,721	10.3	2,292	平成17年9期
	四半期純利益	△ 850	△ 3.2	△ 114	△ 0.4	△ 2,508	△ 13.4	6,415	24.2	1,279	平成18年9期
連結	売上高	32,865	100.0	35,911	100.0	23,743	100.0	30,735	100.0	35,911	平成20年9期
	営業利益	448	1.4	564	△ 1.6	△ 1,430	△ 6.0	3,541	11.5	2,088	平成17年9期
	経常利益	389	1.2	170	△ 0.5	△ 1,935	△ 8.2	2,759	9.0	2,128	平成17年9期
	四半期純利益	△ 714	△ 2.1	△ 407	△ 1.1	△ 2,274	△ 9.6	5,706	18.6	1,394	平成17年9期

② 通期の業績推移及び予想

(単位:百万円)

		平成20年3月期		平成21年3月期		平成22年3月期		平成23年3月期(予想)		前年度までの過去最高の業績	
		金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	金額	対象年度
個別	売上高	55,676	100.0	52,268	100.0	42,459	100.0	53,100	100.0	55,676	平成20年3期
	営業利益	3,879	7.0	1,845	3.5	977	2.3	5,820	11.0	4,256	平成19年3期
	経常利益	3,869	6.9	1,682	3.2	390	0.9	5,170	9.7	4,669	平成19年3期
	当期純利益	△ 782	△ 1.4	△ 4,182	△ 8.0	△ 3,504	△ 8.3	7,860	14.8	2,364	平成4年3期
連結	売上高	68,062	100.0	60,572	100.0	51,143	100.0	60,800	100.0	68,062	平成20年3期
	営業利益	868	1.3	△ 380	△ 0.6	251	0.5	7,000	11.5	3,343	平成18年3期
	経常利益	340	0.5	△ 1,963	△ 3.2	△ 643	△ 1.3	5,800	9.5	3,586	平成18年3期
	当期純利益	△ 2,063	△ 3.0	△ 4,764	△ 7.9	△ 1,922	△ 3.8	7,300	12.0	1,530	平成17年3期

(2) 第2四半期利益増減要因(前年同期比)

【個別】

(単位:百万円)

増減主要項目	増	減
営業利益		
・売上増による増益効果	3,580	
・固定費(労務費、経費、減価償却費)減	330	
・改善効果	626	
・その他	199	
・原材料値上り		345
・変動費(材料費、物流費、仕入等)増		801
経常利益		
・為替差損		130
・その他		11
四半期純利益		
・'09/9期発生の評価損	1,324	
・法人税等調整額(米国子会社清算に伴う)	3,690	
・その他	462	
営業利益:⊕ 3,589	経常利益:⊕ 3,448	四半期純利益:⊕ 8,924

【連結】

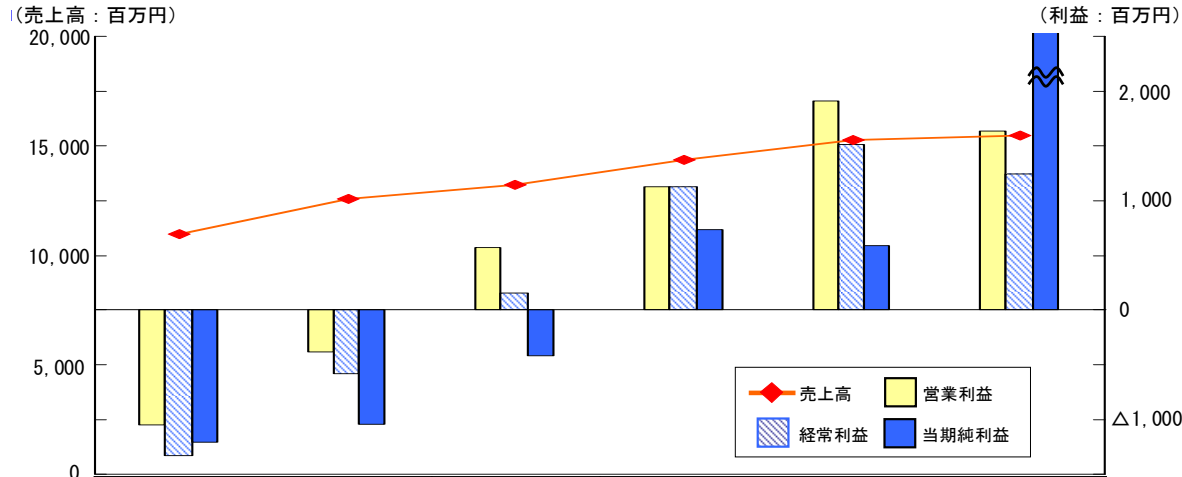
(単位:百万円)

地域	営業利益	経常利益	四半期純利益
	増減額 (主な要因)	大同グループ全体の 主な増減要因	大同グループ全体の 主な増減要因
・個別 (大同メタル)	⊕ 3,386 (個別の増減要因)	営業外収益 ・その他 ⊕ 54	特別利益 ・その他 ⊕ 90
・国内	⊕ 915 (集約効果、生産性改善)		
・アジア	⊕ 190 (増収効果)	営業外費用 ・為替差損 △ 461 ・その他 ⊕ 130	特別損失 ・その他 △ 117
・米国	⊕ 465 (米国子会社清算)		その他 ・法人税等調整額 (米国子会社清算) ⊕ 3,770
・欧州	⊕ 15		・その他 △ 457
合計	⊕ 4,971	⊕ 4,694	⊕ 7,980

(注) ⊕ は利益増、△ は利益減を示す。

(3) 四半期別業績推移

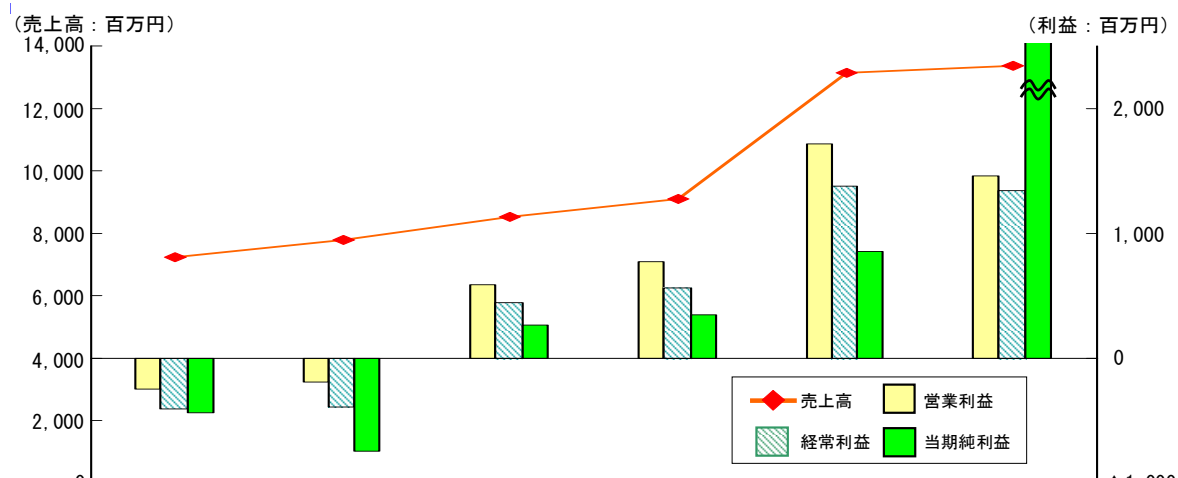
① 連結：四半期別業績推移(平成22年3月期第1四半期～平成23年3月期第2四半期)



	H22/3 1Q	2Q	3Q	4Q	H23/3 1Q	2Q
売上高	10,974	12,568	13,222	14,355	15,265	15,470
営業利益	△1,050	△380	567	1,131	1,906	1,635
経常利益	△1,328	△580	157	1,126	1,514	1,245
当期純利益	△1,201	△1,044	△412	735	588	5,118

*平成22年3月期の四半期別業績は、期末(12/末日)の為替レートで、平成23年3月期第1四半期の業績は6/末日の為替レートで換算し直した数値であり、四半期決算業績数値とは異なります。

② 個別：四半期別業績推移(平成22年3月期第1四半期～平成23年3月期第2四半期)



	H22/3 1Q	2Q	3Q	4Q	H23/3 1Q	2Q
売上高	7,232	7,802	8,526	9,117	13,136	13,354
営業利益	△248	△186	590	773	1,716	1,456
経常利益	△406	△386	444	569	1,381	1,340
当期純利益	△431	△739	264	352	857	5,558

(4) 設備投資及び減価償却費の推移と予想

① 第2四半期別推移

〔設備投資〕

(単位:百万円)

	平成19年9月期	平成20年9月期	平成21年9月期	平成22年9月期
個別	1,331	2,418	1,518	445
連結	2,543	3,415	1,847	1,068

〔減価償却費〕

(単位:百万円)

	平成19年9月期	平成20年9月期	平成21年9月期	平成22年9月期
個別	1,178	1,340	1,330	1,218
連結	2,304	2,617	2,589	2,334

② 年度別推移と予想

〔設備投資〕

(単位:百万円)

	平成20年3月期	平成21年3月期	平成22年3月期	平成23年3月期
個別	3,570	4,391	2,252	(予想)1,650
連結	7,163	8,660	2,943	(予想)2,830

〔減価償却費〕

(単位:百万円)

	平成20年3月期	平成21年3月期	平成22年3月期	平成23年3月期
個別	2,457	3,012	2,832	(予想)2,480
連結	4,845	5,251	5,363	(予想)4,700